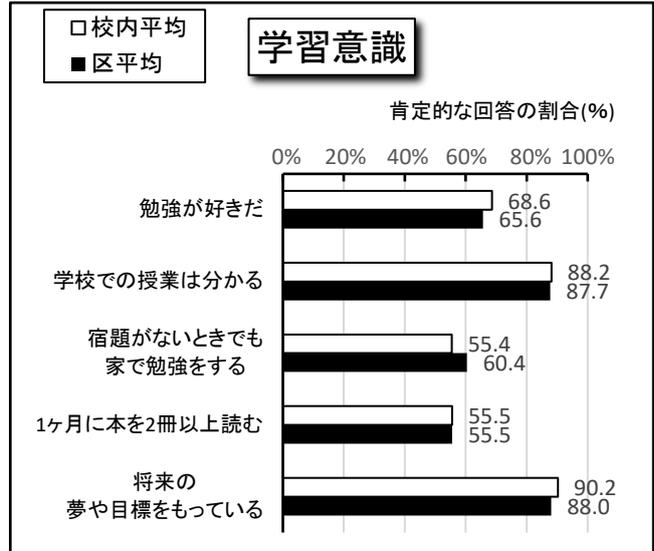
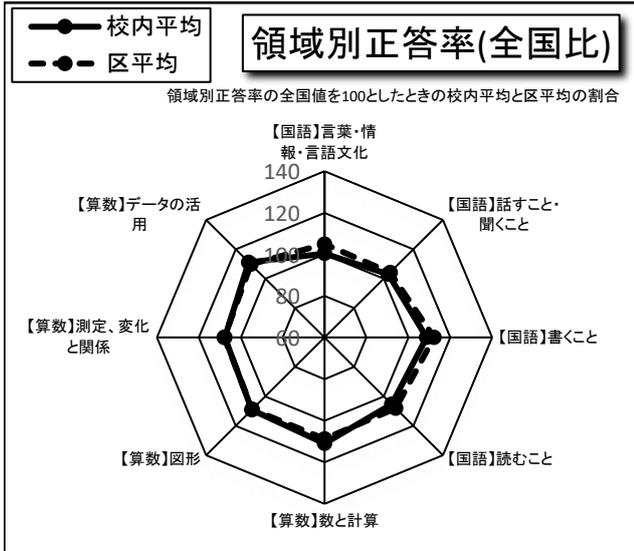


中川東小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(R6)			74.4	76.7	72.7	76.4	56.7	61.9	50.0	59.1	50.0	46.6
通過率(R6)	77.9	86.0	69.6	87.0	87.5	100.0	70.8	93.8	85.4	82.9	78.7	68.1
目標値(R5)			74.4	74.8	72.7	71.3	58.1	60.4	56.0	60.1	60.9	50.5
通過率(R5)	83.3	89.3	82.6	95.7	87.2	91.5	93.2	100.0	76.1	76.1	78.4	84.3
平均正答率(R6)	71.9	77.1	81.0	85.4	87.7	93.4	66.8	80.2	70.0	78.1	60.0	55.6
平均正答率(R5)	77.8	78.7	88.1	91.0	86.4	85.8	82.4	83.5	66.7	65.9	70.5	71.5

◎目標値: 本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値

◎通過率: 目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100(%)]

◎平均正答率: 本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100(%)] の平均値)

「学習定着度調査」分析結果

【意識調査】「勉強が好きだ」「学校での授業は分かる」「将来の夢や目標」は区平均を上回り、「学校での授業は分かる」「将来の夢や目標」については約9割と高いことから、学校生活が充実していることが窺える。本校の課題は自主学習と読書量の向上であると考え。

【国語】2・4・6学年が通過率8割を超えられておらず、2年生は正答率は81%だが通過率が69.6%と低い。1問1問丁寧に確実に取り組む力を育てることが課題と考える。領域別正答率は全て区平均と同等か若干下回っている。言葉の領域についてはA Iドリルを活用し、書く・読むにつなげていく。

【算数】学校全体の通過率は昨年度より3ポイント減だが86%で3、4年生は9割以上と高い。また、平均正答率も昨年度と同等である。校内研究で算数に取り組んだ成果が表れていると考える。今後は、平均正答率8割を超えられるよう基礎学習の定着を継続して図っていく。

【全体】国語の通過率、平均正答率が算数より低く、学年ごとの差も大きいことが課題である。今後は国語に重点を置き、組織的な取り組みをしていくことが急務である。

学校による学力向上への主な取り組み

【基礎学力定着に向けた学力向上施策】

学年、学級間の差がなくなるよう学校として組織的な指導に取り組んでいく。

- ①パワーアップタイム (国・算・読) 週3日 朝 8:20~8:35 15分間
- ②花丸教室 (放課後補習教室) 週2日 放課後 15:15~15:45 30分間
→ 区学力調査や単元テストのポートフォリオを活用 未習熟の児童を抽出して実施
- ③がんばろう家庭学習週間 (家庭との連携) 毎月1回 宿題+自主学習の推進
- ④読書月間 年3回 (6月・10月・2月)
- ⑤ICT機器を活用したオンライン学習
→ A Iドリル・デジタルM I M・キーボー島などの学習ツールを活用
- ⑥サマースクール (夏季補習教室) 土日を除く10日間 各学年60分
→ 区学力調査で目標値に達しなかった児童を対象に実施 全教員体制で実施
- ⑦「図書館を使った調べる学習コンクール」への参加推奨 (3~6年生)